SoundTouch® 520
home theater system

オーナーズガイド(日本語)

安全上の留意項目

このオーナーズガイドに記載された内容をよくお読みください。また、必要なときにすぐご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめいたします。

正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。

正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、このガイドの中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを、お客様に注意喚起するものです。

警告:

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。他の電気製品と同様、製品内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。
- 付属のリモコンの電池を交換する場合は、単三形(IEC LR06)アルカリ乾電池を使用してください。
- 火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。

注意:

- 許可なく製品を改造しないでください。安全性、法令の遵守、およびシステムパフォーマンスを損なう原因となり、製品保証が無効となる場合があります。
- 大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に長時間にわたるヘッドホンのご使用の際は、大きな音量はお避けください。

警告: のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。

警告: この製品には磁性材料が含まれています。埋め込み型医療機器の動作に影響があるかどうかについては、医師にご相談ください。

注記:

- 製品ラベルはコンソールの底面にあります。
- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。
- この製品は室内専用機器です。屋外、RV車内、船上などで使用するようには設計されていません。また、そのような使用環境におけるテストも行われていません。
- 付属のケーブル類は、壁内や天井裏、床下等の隠ぺい配線用ではありません。隠ぺい配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。

安全上の留意項目

1. 本書をよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用し、ボーズ社の指示に従って行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。ボーズ社の指示に従って設置してください。
8. ラジエータ、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源アダプターやコードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ずメーカーにより指定された付属品、あるいはアクセサリーのみをご使用ください。
11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
12. 修理が必要な際には、カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源アダプターやコードの損傷、液体や物の内部への落下、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by Bose Corporation could void the user's authority to operate this equipment.

This device complies with part 15 of the FCC Rules and Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

SoundTouch ワイヤレスアダプター
This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 8 in. (20 cm) between this device and your body.

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

This device complies with FCC and Industry Canada RF radiation exposure limits set forth for general population. It must not be co-located or be operating in conjunction with any other antennas or transmitters.

使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。

This symbol means the product must not be discarded as household waste, and should be delivered to an appropriate collection facility for recycling. Proper disposal and recycling helps protect natural resources, human health and the environment. For more information on disposal and recycling of this product, contact your local municipality, disposal service, or the shop where you bought this product.

Bose Corporation hereby declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC and all other applicable EU directive requirements. The complete declaration of conformity can be found at: www.Bose.com/compliance

Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements						
	Toxic or Hazardous Substances and Elements					
Part Name	**Lead (Pb)**	**Mercury (Hg)**	**Cadmium (Cd)**	**Hexavalent (CR(VI))**	**Polybrominated Biphenyl (PBB)**	**Polybrominated diphenylether (PBDE)**
PCBs	X	O	O	O	O	O
Metal parts	X	O	O	O	O	O
Plastic parts	O	O	O	O	O	O
Speakers	X	O	O	O	O	O
Cables	X	O	O	O	O	O
This table is prepared in accordance with the provisions of SJ/T 11364. O: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement of GB/T 26572.						
X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement of GB/T 26572						

規制に関する情報

控えとして、製品のシリアル番号を下の欄にご記入ください。

シリアル番号は、Acoustimass®モジュールの端子盤とリモコンのケースに記載されています。

モデル番号: ____

モジュールのシリアル番号:______________________________________

リモコンのシリアル番号:_______________________________________

コンソールのシリアル番号:______________________________________

購入日:____

このガイドとともに、ご購入時の領収証を保管することをおすすめします。

製造日: シリアル番号の太字で表記されている1桁目の数字は製造年を表します。「5」は2005年または2015年です。

中国における輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plan 9, No. 353 North Riying Road, China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone
EUにおける輸入元: Bose GP, Castleblayney Road, Carrickmacross, County Monaghan, Ireland
台湾における輸入元: Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No.10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan

App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
Amazon、Kindle、およびFireはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
AndroidおよびGoogle PlayはGoogle Inc.の商標です。
Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はBlu-ray Disc Associationの商標です。
Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

この製品はDolby Laboratoriesのライセンスに基づいて製造されています。DolbyおよびダブルDマークはDolby Laboratoriesの商標です。

DTSの特許については、http://patents.dts.comをご覧ください。この製品はDigital Theater Systems, INC.のライセンスに基づいて製造されています。DTS、DTSの記号、およびDTSと記号を組み合わせたロゴはDTS, Inc.の登録商標です。また、DTS Digital SurroundはDTS, Inc.の商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved.

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIのロゴはHDMI Licensing, LLCの米国および他の国々における商標または登録商標です。

iHeartRadioはiHeartMedia, Inc.の登録商標です。
この製品にはSpotifyソフトウェアが組み込まれており、次のサイトに掲載されたサードパーティのライセンスが適用されます。www.spotify.com/connect/third-party-licenses
SpotifyはSpotify ABの登録商標です。
SoundTouchおよび音符と無線電波を組み合わせたデザインは、米国および他の国々におけるBose Corporationの登録商標です。
Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。

目次

目次

Bluetooth®

システムの動作状態の確認

お手入れについて

付録: コンピューターを使用してセットアップする

SoundTouch® 520 Systemについて

SoundTouch® 520 home theater systemは、Bose®ならではの優れた音質で、ビデオソースやSoundTouch®、*Bluetooth*®オーディオなどの音声をお楽しみいただけるシステムです。家中のどのお部屋でも、ホームWi-Fi®ネットワークによるワイヤレス接続を通じて、クリアなサウンドの音楽をストリーミング再生できます。SoundTouch®を使用すると、インターネットラジオ、音楽サービス、コンピューターの音楽ライブラリなどをストリーミング配信できます。

Wi-Fiを使用している場合は、お気に入りの音楽を家の中のどの場所でもすぐに再生できます。

システムの特長

- Boseの高度なオーディオ処理技術により、ライブ演奏のように自然なサウンドが再生されます。
- ADAPTiQ®自動音場補正システムが最適な音質に調整します。
- Consumer Electronics Control (CEC)機能に対応しています。
- インターネットラジオ、音楽サービス、コンピューターの音楽ライブラリなどをワイヤレスで利用できます。
- お気に入りの音楽を自由にプリセットして、簡単にストリーミング再生できます。
- スマートフォンやタブレットからワイヤレスをセットアップできます。
- 自宅のWi-Fiネットワークにすぐに接続できます。
- *Bluetooth*対応機器から音楽をストリーミング再生できます。
- 無料のSoundTouch® appをコンピューターやスマートフォン、タブレットにインストールできます。
- 接続機器をいつでも簡単に追加して、自宅のどの部屋でも再生できます。
- さまざまな種類のBoseオーディオシステムに対応しているので、再生環境に合わせた機器を選択できます。

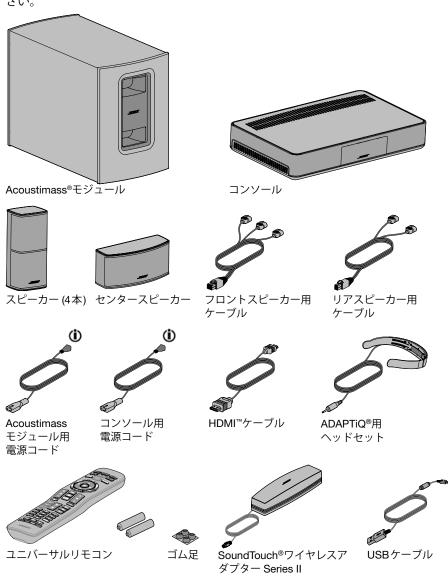
ハードウェアの機能

- システム設定と情報を表示するディスプレイが搭載されています。
- HDMI™接続により簡単にセットアップでき、接続した機器から高音質のオーディオを再生できます。
- テレビやCATV/BS/CSチューナーなど、接続機器を付属のユニバーサルリモコンで操作できます。
- ワイヤレス接続で置き場所を選ばないAcoustimass®モジュールが豊かな重低音を再生します。
- スピーカーは壁面に取り付けることもできます(別売キットをご利用ください)。
- SoundTouch®ワイヤレスアダプター Series IIがSoundTouch®と*Bluetoothの利用を可能にします。*

SoundTouch® app

- スマートフォン、タブレット、コンピューターなどからSoundTouch®ソースをセットアップして操作できます。
- SoundTouch® appを使用して、お気に入りの音楽を簡単にプリセットに登録できます。
- インターネットラジオ、音楽サービス、コンピューターの音楽ライブラリを利用できます。
- *Bluetooth*対応機器をペアリングして接続し、音楽を再生できます。
- SoundTouch®の設定を管理できます。

内容物の確認

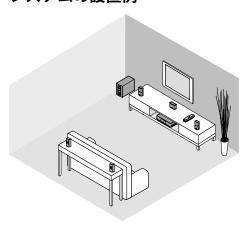
箱の中身を取り出して、下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。

ⓘ 電源コードは2つ以上付属する場合があります。日本用の電源コードをお使いください。

注記: 万一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。

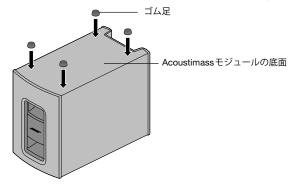
設置のためのガイド

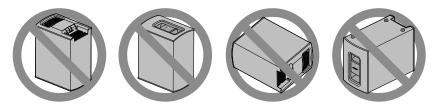
ワイヤレス信号の干渉を回避するには、ほかのワイヤレス機器から離れた場所に設置します。金属製キャビネットや他のAV機器、熱源などから離れた場所に設置してください。キャビネットの中には置かないでください。

Acoustimass® モジュール	• Acoustimassモジュールにゴム足を取り付けて、テレビと同じ壁に沿って置くか、あるいは左右の壁沿いでテレビの近辺(テレビのある壁から見て部屋の3分の1以内の場所)に置きます。 • 安定した水平な面に設置してください。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でAcoustimassモジュールの位置がずれることがあります。 • 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。
フロントスピーカー	• フロント左/右スピーカーを、テレビの両側に1台ずつ設置します。 • できるだけ、テレビ画面の端から1 m以内のところに設置することをおすすめします。 • 本棚のような囲まれた場所にスピーカーを置く場合は、棚の前面端に合わせて設置してください。
センタースピーカー	• センタースピーカーは、テレビの中心線の真上または真下の安定した場所に水平に設置します。
リアスピーカー	• リアスピーカーは、お部屋の後方、リスナーの後ろに設置します。可能であれば、座った時の耳の高さと同じか、それより高い位置に設置してください。
コンソール	• コンソールはテレビに近い場所に設置します。テレビの上には設置しないでください。 • 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。
SoundTouch®ワイヤレスアダプター	• 無線の干渉を防ぐため、コンソール、Acoustimass®モジュール、他のワイヤレス機器などから30 cm ～ 1.8 mほど離してアダプターを設置します。

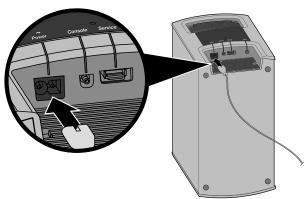
システムの設置例

Acoustimass モジュールにゴム足を取り付ける

床を保護するため、Acoustimass モジュールにゴム足を取り付けます。

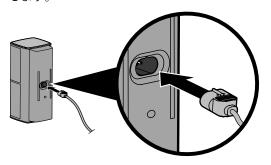
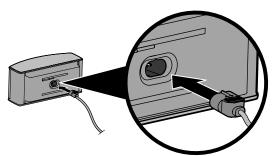
1. Acoustimassモジュールに傷が付かないように毛布などを敷き、その上にモジュールを上下逆にして置きます。
2. Acoustimass モジュールの底面にゴム足を取り付けます。

3. ゴム足を下にしてAcoustimass モジュールを置きます。

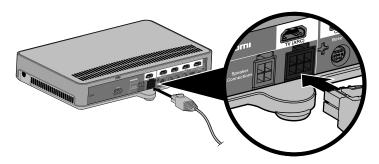
   注意: Acoustimassモジュールの前面や背面を底にした状態や、横倒し、または天地逆の状態で使用しないでください。

4. 保護フィルムをすべて剥がします。保護フィルムが残っていると、オーディオパフォーマンスが低下する原因となります。

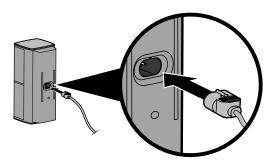
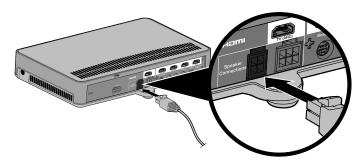
Acoustimass®モジュールを電源に接続する

1. 電源コードをAcoustimassモジュールの ~ Power 端子に接続します。

2. 電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込みます。

フロントスピーカーを接続する

1. フロントスピーカー用ケーブルの**L**プラグをテレビの左側のスピーカーに接続します。

2. フロントスピーカー用ケーブルの**C**プラグをセンタースピーカーに接続します。

3. フロントスピーカー用ケーブルの**R**プラグをテレビの右側のスピーカーに接続します。

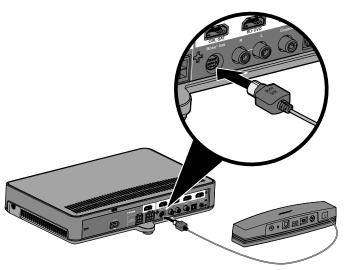
4. フロントスピーカー用ケーブルの反対側のプラグをコンソールの**Speaker Connections** 6ピン端子に接続します。

リアスピーカーを接続する

1. リアスピーカー用ケーブルの**LR**プラグをL (左)側リアスピーカーに接続します。

2. リアスピーカー用ケーブルの**RR**プラグをR (右)側リアスピーカーに接続します。
3. リアスピーカー用ケーブルの反対側のプラグをコンソールの**Speaker Connections** 4ピン端子に接続します。

スピーカーを壁に取り付ける

スピーカーは、壁掛けブラケット、フロアスタンド、またはテーブルスタンドにも設置できます。これらのアクセサリーにつきましては、お近くのボーズ製品販売店、または弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。なお弊社Webサイトにおきましても、各種アクセサリーをご紹介しております。

注意: 純正以外のアクセサリーを使用してスピーカーを設置しないでください。

SoundTouch®ワイヤレスアダプターを接続する

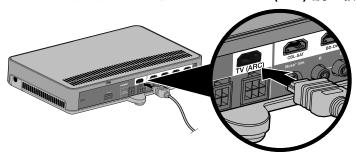
アダプターをコンソール背面の**Bose® link**端子に接続します。

コンソールをテレビに接続する

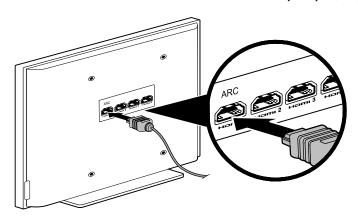
テレビと接続する場合は、**ARC** (Audio Return Channel)端子をご使用ください。HDMI ARC端子がない場合は、16ページをご覧ください。

HDMI™ ARC端子を使用する場合

Bose® HDMIケーブルを使用して、コンソールをテレビに接続します。

1. CATV/BS/CSチューナー、DVD/Blu-ray Disc™プレーヤー、ゲーム機など、HDMIケーブルでテレビに接続されている機器を外します。

2. Bose® HDMIケーブルのプラグをコンソールの**TV (ARC)**端子に接続します。

コンソールのセットアップ

3. HDMI ケーブルの反対側のプラグをテレビの **HDMI (ARC)** 端子に接続します。

テレビに HDMI™ ARC 端子がない場合

テレビに HDMI ARC 端子がない場合は、HDMI ケーブルのほかに、光ケーブル、同軸ケーブル、またはアナログステレオ音声ケーブルを使用してテレビとコンソールを接続します。これらのケーブルを使用して接続しないと、Bose® システムから音声が再生されません。

HDMI ケーブル以外の接続が必要となる構成:

- 内蔵ソース (インターネットアプリケーションや OTA アンテナなど) を使用する場合
- テレビに外部機器を接続する場合

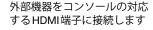
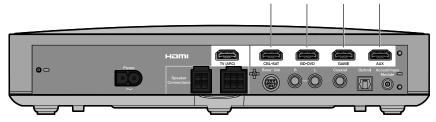
詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

ヒント: テレビに音声入力 (IN) と音声出力 (OUT) の両方の端子がある場合は、音声出力 (**OUT**) 端子を使用してください。

コンソールを外部機器に接続する

HDMI™端子のある外部機器を接続する

HDMIケーブル(別売)を使用して、CATV/BS/CSチューナー、DVD/Blu-ray Disc™プレーヤー、ゲーム機などをコンソールに接続できます。外部機器にHDMI端子がない場合の設定方法については、「HDMI ™端子のない外部機器を接続する」をご覧ください。

1. HDMIケーブルのプラグを外部機器の**HDMI (OUT)**端子に接続します。
2. HDMIケーブルの反対側のプラグをコンソールの対応するHDMI端子に接続します。たとえば、ゲーム機のHDMIケーブルは**GAME**端子に接続します。

HDMI™端子のない外部機器を接続する

外部機器にHDMI端子がない場合は、音声ケーブルと映像ケーブルを使用してテレビに接続します(ケーブルは別途ご用意ください)。詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

ヒント: 外部機器に音声入力(IN)と音声出力(OUT)の両方の端子がある場合は、音声出力(**OUT**)端子を使用してください。

オーディオ機器を接続する

メディアプレーヤーやCDプレーヤーなどのオーディオ機器にHDMI端子がない場合:

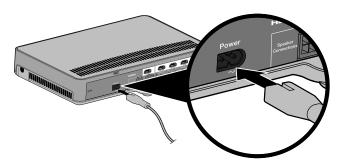
1. コンソールの光ケーブル端子、同軸ケーブル端子、アナログ端子、または SIDE AUX ( )端子に接続します。

   注記: 光ケーブル、同軸ケーブル、アナログ音声ケーブル、3.5 mmステレオ音声ケーブルなどは別途ご用意ください。

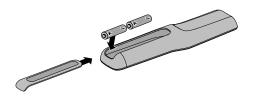
2. 光入力、同軸入力、アナログ音声入力、SIDE AUX端子入力を適切なソースに設定します。これらの設定はシステムメニューから行います(31ページを参照)。

システムの起動と終了

コンソールを電源に接続する

1. 電源コードをコンソールの**Power** **〜** 端子に接続します。

2. 電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込みます。

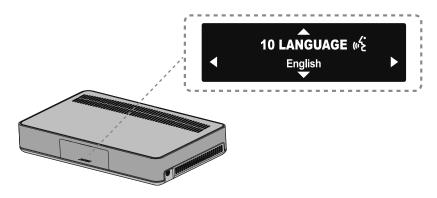
リモコンに電池を装着する

1. リモコンの裏側にある電池カバーをスライドして開きます。

2. 付属の単三形アルカリ乾電池2本を入れます。電池ケースに表示されている**+**と**−**の向きと、乾電池の**+**と**−**の向きを正しく合わせてください。
3. 電池カバーをスライドして元に戻します。

システムの電源をオンにして言語を選択する

1. リモコンの AUDIO ボタンを押します。

コンソールの電源がオンになり、ディスプレイに「**10 LANGUAGE**」と表示されます。

注記: 言語の設定を終えた後は、最後に使用したソースが表示されます。

2. ◀ ボタンと ▶ ボタンを押して、使用する言語を表示します。

3. EXIT ボタンを押します。

ヒント: 違う言語を選択してしまった場合は、システムメニューで アイコンを探してください。

システムを操作しないで16分間経過すると、システムの電源はオフになります。このオートオフ機能はシステムメニューで無効にできます(31ページを参照)。

サウンドを確認する

1. テレビの電源をオンにします。

2. CATV/BS/CSチューナーやその他の外部機器を使用する場合は、これらの機器の電源もオンにします。

ヒント: 外部機器をテレビに接続している場合は、適切なテレビ入力を選択します。必要に応じて別のリモコンをお使いください。

3. システムの電源をオンにします。

4. 該当する接続機器ボタンを押します。

5. スピーカーから音が出ているかどうか確認します。

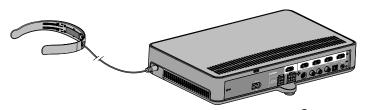
6. リモコンの ボタンを押します。テレビから音が出ていないことを確認します。

注記: テレビの内蔵スピーカーから音が聞こえている場合、またはBose®スピーカーから音が聞こえない場合は、「故障かな？と思ったら」(33ページ)をご覧ください。

ADAPTiQ®自動音場補正システムを実行する

ADAPTiQ自動音場補正システムは、システムが設置されている部屋の音響条件を5つの場所で測定し、それに合わせてシステムの音場を補正します。音場補正を実行するには、お部屋を10分ほど静かな状態に保つ必要があります。

1. ADAPTiQ用ヘッドセットを装着します。

ADAPTiQ自動音場補正システムでは、ヘッドセットに内蔵されたマイクでお部屋の音響条件を測定し、お部屋に最適な音質を決定します。

2. ADAPTiQ用ヘッドセットのケーブルをコンソールの 🎧 端子に接続します。

3. リモコンの SYSTEM ボタンを押します。

4. ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、ディスプレイに「**14 ADAPTiQ**」と表示させます。

5. OK ボタンを押します。

6. 音声の指示に従って、自動音場補正を完了します。

注記: エラーメッセージが聞こえてADAPTiQシステムによる自動音場補正を完了できない場合は、36ページをご覧ください。

7. ADAPTiQ用ヘッドセットのプラグをコンソールから抜き、安全な場所に保管してください。

注記: システムまたは家具を移動した場合は、ADAPTiQ自動音場補正システムを再度実行して音質を調整してください。

システムをWi-Fi®ネットワークに追加する

ネットワークに接続しているスマートフォンまたはタブレットにSoundTouch® appをダウンロードしてインストールする必要があります。スマートフォンやタブレットがない場合は、ネットワーク上のコンピューターでセットアップを行います(39ページを参照)。

アプリを起動すると、システムをネットワーク上にセットアップする手順が表示されます。

注記: 別のシステム用にSoundTouch®をセットアップしてある場合は、「システムを既存のSoundTouch®アカウントに追加する」をご覧ください。

SoundTouch® appをダウンロードしてインストールする

SoundTouch®システムを初めてセットアップする場合は、アプリをインストールする必要があります。

スマートフォンやタブレットに**Bose® SoundTouch® controller app**をダウンロードします。

Bose® SoundTouch® controller app

- iOSユーザーの場合: App Storeからダウンロードします。
- Android™ユーザーの場合: Google Play™ストアからダウンロードします。
- Amazon Kindle Fireユーザーの場合: Amazon Androidアプリストアからダウンロードします。

システムをWi-Fi®ネットワークに接続する

アプリをインストールしたら、次の手順でシステムをネットワークに追加します。

1. スマートフォンやタブレットで、SoundTouch®アイコン をタップしてアプリを起動します。
2. アプリに表示される手順に従い、SoundTouch®アカウントの作成、音楽ライブラリや音楽サービスの追加などのセットアップを完了します。

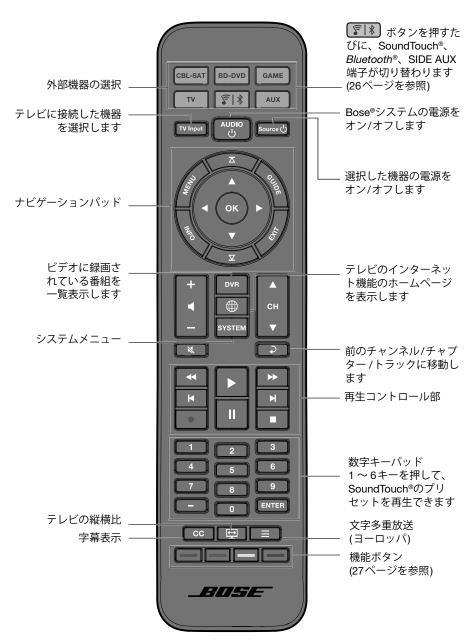
システムを既存のSoundTouch®アカウントに追加する

別のシステム用にSoundTouch®をセットアップしてある場合は、SoundTouch® appを再度ダウンロードする必要はありません。

1. スマートフォンやタブレットで、 をタップしてアプリを起動します。
2. [**EXPLORE**] > [**設定**] > [**システム**] > [**システムの追加**]の順に選択します。

   セットアップの手順はアプリに表示されます。

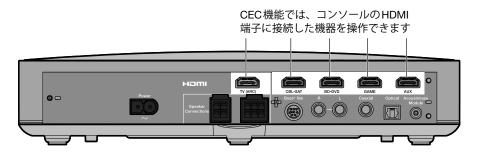
リモコンについて

リモコンを使用して、システムに接続した外部機器の操作、システムの音量の調節、チャンネルの変更、再生機能の操作、CATV/BS/CSチューナーの機能の有効化、システムメニューの操作などを行うことができます。

ユニバーサルリモコンをプログラムする

ユニバーサルリモコンを設定して、テレビ、CATV/BS/CSチューナー、DVD/Blu-ray Disc™プレーヤー、ゲーム機、ビデオデッキなどの外部機器を操作できます。

Consumer Electronics Control (CEC) 機能

システムはConsumer Electronics Control (CEC)機能に対応しています。CEC機能を使用すると、リモコンをプログラムしなくても、HDMI™ケーブルで接続した複数の機器を操作できます。CEC機能はシステムメニューで無効にできます(31ページを参照)。

機器がCEC機能に対応している場合でも、メーカーによって別の名称で呼ばれていることがあります。詳細については、機器の取扱説明書をご覧ください。

ヒント: CEC機能は機器またはテレビのシステムメニューで有効にする必要があります。詳細については、機器の取扱説明書をご覧ください。

HDMI™接続機器がCEC機能に対応しているかどうか確認する

接続機器に対応するボタン(TV、CBL-SATなど)を押したときに、その機器を操作できる場合は、リモコンをプログラムする必要はありません。

注記: HDMI接続機器の中にはCEC機能に対応していないものもあります。詳細については、機器の取扱説明書をご覧ください。

1. Bose®システム、テレビ、テストする接続機器の電源をオンにします。
2. 接続機器の機能に対応する各種ボタンを押します。
3. Source ボタンを押します。接続機器の電源がオフになります。

   機器のいずれかの機能を操作できない場合は、接続機器を操作できるようにリモコンをプログラムします(24ページを参照)。

システムの使用

リモコンで接続機器を操作できるように設定する

接続機器がCEC機能に対応していない場合は、機器のメーカーの設定コードを入力してユニバーサルリモコンを設定し、テレビ、CATV/BS/CS用チューナー、DVD/Blu-ray Disc™プレーヤー、ゲーム機、HDDレコーダーなどを操作できます。接続機器のコードは複数ある場合があります。次の手順を何度か実行して、正しいコードを確認してください。

接続機器のコードを確認する

1. 接続機器の電源をオンにします。
2. 付属の『ユニバーサルリモコン設定コード表』に、接続機器のメーカー名が記載されているか確認します。

接続機器のコードを入力する

1. リモコンの該当する接続機器ボタンを長押しして、6つの接続機器ボタンが点灯したら指を放します。

   たとえば、テレビを操作できるようにプログラムする場合は、TV ボタンを長押しして、6つの接続機器ボタンが点灯したら指を放します。

   該当する接続機器ボタンのみが点灯します。
2. 数字キーパッドを使って、機器のメーカーの設定コードを入力し、音量＋ボタンを押します。

接続機器のコードをテストする

1. 接続機器の基本機能をテストします。機器ごとの手順に従ってください。
   - **テレビ**: チャンネルボタンを押します。MENU ボタンを押します。設定メニューが表示されます。◀ ボタンと ▶ ボタンを押して操作します。
   - **CATV/BS/CSチューナー**: GUIDE ボタンを押します。番組表が表示されます。◀ ボタンと ▶ ボタンを押して操作します。
   - **DVD/Blu-ray Disc™プレーヤー**: GUIDE ボタンを押します。設定メニューが表示されます。◀ ボタンと ▶ ボタンを押して操作します。
   - **ゲーム機**: ◀ ボタンと ▶ ボタンを押してメニューを操作します。
2. 接続機器の基本機能を操作できるかどうかに応じて、以下の操作を行います。
   - **リモコンで正しく操作できる場合:** EXIT ボタンを押して、設定を保存して終了します。
   - **接続機器を操作できない場合、またはリモコンが正しく機能しない場合:**
     - **接続機器ボタンが点灯する場合:** 音量＋ボタンを押して、次のコードを試します。「接続機器のコードをテストする」の手順1と2を繰り返します。この手順は30回以上繰り返す必要がある場合もあります。機器のコードをすべて試し終わったら、6つのボタンが3回点滅します。
     - **接続機器ボタンが点灯しない場合:** リモコンのプログラムモードが解除されています。「接続機器のコードを入力する」の手順1と2、および「接続機器のコードをテストする」の手順1と2を繰り返します。

注記: 一部の機器はユニバーサルリモコンに対応していない場合があります。詳細については、機器の取扱説明書をご覧ください。

外部機器の選択

操作の対象となる機器を切り替えるには、リモコンの接続機器ボタンのうち該当するものを押します。操作を始める前に、接続機器を操作できるようにリモコンを設定します(24ページを参照)。

Bose®システムに接続した機器を選択する

機器がコンソールに接続され、CEC機能を使用していない場合は、コンソールを適切なモードに設定し、接続機器の電源をオンにします。

1. システムの電源をオンにします。
2. 操作したい接続機器に対応する「接続機器ボタン(TV、CBL/SATなど)」を押します。

   接続機器ボタンが点灯します。
3. Source ボタンを押します。

   接続機器の電源がオンになります。

テレビに接続した機器を選択する

外部機器をテレビに接続している場合は、適切なテレビ入力を選択します。

1. システム、テレビ、外部機器の電源をオンにします。
2. TV Input ボタンを押して、テレビ入力を選択します。

   接続機器用の入力を選択するには、TV Input ボタンを何回か押す必要がある場合もあります。

   一部のテレビでは、TV Input ボタンを押すとメニューが表示されます。リモコンを使用してテレビ入力を選択し、このメニューを閉じます。

ユニバーサルリモコンの接続機器ボタンとコンソールの端子

リモコンの接続機器ボタンは、コンソールの背面にある端子に対応しています。たとえば、BD-DVD ボタンは**BD-DVD** HDMI端子に対応しています。

接続機器ボタンを押すと、対応する端子に接続されている任意の機器を操作できます。2台目のDVD/Blu-ray Disc™プレーヤーを**CBL-SAT**端子に接続している場合、プレーヤーを CBL-SAT ボタンで操作できます。

注記: リモコンをプログラムする際には、接続した端子の種類ではなく、使用する機器に対応している設定コードを使用してください。

ボタンの操作

このボタンを使用すると、システムで音楽を再生できます。

- システムのSoundTouch®ソースを操作できます
- *Bluetooth*®対応機器を接続して音楽をストリーミング再生できます。
- SIDE AUX端子に接続したオーディオ機器を使用できます。

ボタンを押すと、SoundTouch® ( )、*Bluetooth* ( )、SIDE AUX ( ) 端子が切り替わります。

SoundTouch®

ソースの再生やプリセットなど、SoundTouch®の機能の一部をシステムで操作できます。「SoundTouch®の使用」(28ページ)をご覧ください。

Bluetooth ワイヤレステクノロジー

システムには*Bluetooth*ワイヤレステクノロジーが搭載されており、*Bluetooth*対応機器の音楽をストリーミング再生でお楽しみいただけます。接続した機器は最大8台までペアリングリストに保存されます(29ページを参照)。

SIDE AUX

コンソールの側面には、3.5 mmステレオ音声ケーブルを接続できるSIDE AUX端子があります。この端子を音声入力用に設定すると、ボタンで切り替えて、接続した機器の音楽を再生できます。
端子の設定を変更する方法については、31ページの「5 SIDE AUX」をご覧ください。

音量の調節

リモコンで次のように操作します。

- ＋ボタンを押すと、音量が段階的に上がります。
- ーボタンを押すと、音量が段階的に下がります。
- 🔇 ボタンを押すと、音声がミュート(一時消音)またはミュート解除されます。

注記: テレビのスピーカーから音が聞こえている場合は、「故障かな？と思ったら」(33ページ)をご覧ください。

機能ボタン

リモコンの赤、緑、黄、青の各ボタンは、CATV/BS/CSチューナー、Blu-Ray Disc™プレーヤー、文字多重放送などのカラーボタンの機能に対応しています。

- CATV/BS/CSチューナーやBlu-Ray Disc™プレーヤーの機能については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 文字多重放送では、画面のページ番号、見出し、ショートカットなど、カラーボタンで操作できる機能に対応しています。
- テレビからAAC+1音声が供給された場合、リモコンの緑ボタンを5秒間長押しするたびに主音声、副音声、主＋副音声に切り替わります。

他社製リモコンをプログラムする

CATV/BS/CSチューナーのリモコンなど、Boseリモコン以外のリモコンをプログラムしてシステムを操作できます。手順については、リモコンの取扱説明書や、ケーブルテレビや衛星放送のWebサイトをご覧ください。

プログラムが完了すると、電源のオン/オフや音量の調節など、基本的な機能を他社製リモコンで操作できるようになります。

SoundTouch®を使用する

SoundTouch®アカウントを作成したら、システムでSoundTouch®を使用できます。SoundTouch®には、SoundTouch® appやリモコンの ボタンからアクセスできます。

SoundTouch®の使用方法を確認するには、SoundTouch.comからSoundTouch®ワイヤレスアダプター Series IIのオーナーズガイドをダウンロードしてください。

SoundTouch® appを使用する

SoundTouch® ® appは、スマートフォンやタブレット、コンピューターなどからSoundTouch®を操作するためのソフトウェアです。このアプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどでSoundTouch® systemの機能を遠隔操作できます。

- お気に入りの音楽を簡単にプリセットに登録できます。
- インターネットラジオ、音楽サービス、コンピューターの音楽ライブラリを利用できます。
- SoundTouch®システム設定を管理できます。

SoundTouch®ソースを使用する

SoundTouch®をセットアップすると、システムの機能の一部をリモコンで操作できるようになります。

- 音楽をプリセットに登録して、数字キーパッドの1～6キーを押して再生できます。
- 音楽の再生に関する操作を行えます(再生、一時停止、停止、次のトラックへのスキップなど)。

SoundTouch®を起動するには

リモコンの ボタンを押します。

ディスプレイに「SoundTouch®」というメッセージが表示されます。

困ったときは

SoundTouch.com

オーナーサポートセンターにアクセスできます。このサイトには、オーナーズマニュアルや製品に関する記事、ヒント、チュートリアル、ビデオライブラリなどが用意されており、オーナー同士で質問を投稿したり回答したりできるコミュニティがあります。

Webブラウザーを開いて、次のURLにアクセスします: SoundTouch.com

アプリのヘルプ

SoundTouch®の使用に関するヘルプを提供します。

1. お使いの機器で、 を選択してアプリを起動します。
2. [**EXPLORE**] > [**ヘルプ**]の順に選択します。

Bluetooth®対応機器をペアリングする

Bluetooth®ワイヤレステクノロジーにより、*Bluetooth*対応のスマートフォン、タブレット、コンピューター、その他のオーディオ機器の音楽をSoundTouch®システムでストリーミング再生できます。

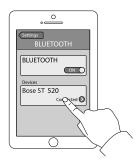
Bluetooth 対応機器から音楽をストリーミング再生するには、機器とシステムをペアリングする必要があります。

1. リモコンの [ボタン] ボタンを押して、ディスプレイに*Bluetooth*のペアリングに関するメッセージが表示されたら放します。

注記: [ボタン] ボタンを押すたびに、SoundTouch® ( )、*Bluetooth* ( )、SIDE AUX ( )端子が切り替わります。

ペアリングを行う前に、ディスプレイに*Bluetooth*のペアリングに関するメッセージが表示されていることを確認してください。

2. *Bluetooth*対応機器の*Bluetooth*機能をオンにします。

ヒント: 通常、*Bluetooth*機能は設定メニューにあります。設定メニューは、ほとんどの機器でホーム画面に歯車のアイコン( )で表示されています。

3. 機器リストからSoundTouch®システムを選択します。

ペアリングすると、機器リストのSoundTouch®システムの名前が接続済みと表示されます。

4. *Bluetooth*対応機器で音楽を再生します。

機器をペアリングできない場合

システムの*Bluetooth*ペアリングリストの消去が必要となる場合があります(「故障かな？と思ったら」(33ページ)を参照)。リストを消去してから、もう一度ペアリングしてみてください。

ペアリングした*Bluetooth*®対応機器に接続する

Bluetooth®対応機器の音楽をシステムでストリーミング再生できます。システムのペアリングリストに複数の機器が保存されている場合、ペアリング済みの機器を接続するまでに1、2分かかることがあります。接続状態はシステムのディスプレイに表示されます。

ボタンの操作

ペアリング済みの別の機器から音楽を再生するには、 ボタンを押して機器に接続する必要があります。
通信範囲内にペアリング済みの機器が複数ある場合、システムは、最後にストリーミング再生していた機器に接続されます。

1. リモコンの ボタンを押して、ディスプレイに*Bluetooth*の検索に関するメッセージが表示されたら放します。

   システムは、通信範囲内で最後にペアリングした機器に接続されます。その機器が通信範囲内にない場合は、ペアリング済み機器のリストにある使用可能な機器を探します。

2. 接続した機器で音楽を再生します。

注記: *Bluetooth*対応機器がシステムに接続されている場合に、別の*Bluetooth*機器を接続する方法については、「Bluetooth®対応機器をペアリングする」(29ページ)を参照してください。

ペアリング済み機器の*Bluetooth*機能を使用する

1. *Bluetooth*対応機器の*Bluetooth*機能をオンにします。
2. 機器リストからSoundTouch®システムを選択します。
3. 接続したら、*Bluetooth*対応機器の音楽をシステムでストリーミング再生します。

システムメニューを使用する

システムメニューを使用して、音量レベルの調節、オートオフ機能などの機能のオン/オフ、表示言語の変更、特定機器の同軸/アナログ/光入力の設定、ADAPTiQ®自動音場補正システムの実行、Acoustimass®モジュールとコンソールのペアリング、システムの出荷時設定へのリセットなどを実行できます。

1. リモコンの SYSTEM ボタンを押します。
2. ▲ ボタンと ▼ ボタンを押して、システムメニューを順送りします。
3. ◀ ボタンと ▶ ボタンを押して、設定を調整します。
4. EXIT ボタンを押します。

ディスプレイ	システムの状態
1 AUDIO COMP	**切**: (デフォルト)音声モードの調整を行いません。 **Enhance dialogue (台詞の強調)**: 音量が低く設定されている場合は、台詞の音量を相対的に高くし、音量が高く設定されている場合は、音声全体をそのまま再生します。 **Smart volume (スマートボリューム)**: 映画の中で音が非常に大きなシーンと静かなシーンの音量差が少なくなるように、自動的に調整します(深夜など、音量設定を小さくした状態で映画鑑賞をしたい場合に便利です)。 **注記:** SoundTouch®、*Bluetooth*®、または 端子に接続した機器では、台詞の強調機能とスマートボリューム機能は使用できません。
2 AUDIO/VIDEO SYNC	音声の聞こえるタイミングを調整し、映像の動きと音声を合わせます。
3 HDMI-CEC	**Default On (デフォルト オン)**: (デフォルト) CEC機能を有効にします(23ページを参照)。 **Alternate On (オルタネート オン):** CEC機能によって、接続機器が意図せず切り替わってしまう不具合を防ぎます(34ページを参照)。 **切**: CEC機能を無効にします。
4 AUTO OFF	**Enable (有効):** (デフォルト) システムを操作しないで(システムから音声が再生されないで) 16分間経過すると、システムの電源がオフになります。 **Disable (無効)**: システムの電源を自動的にオフにしません。
5 SIDE AUX	**Audio in (外部入力)**: 端子を外部機器用に設定します。 **Headphones (ヘッドホン)**: (デフォルト) 端子をヘッドホン出力用に設定します。 **注記: Headphones**に設定した端子にケーブルを接続すると、スピーカーがミュートされます。使用しない場合はヘッドホンを外してください。
6 BASS LEVEL	低音部の補正を行います。
7 TREBLE LEVEL	高音部の補正を行います。

システムの動作状態の確認

ディスプレイ	システムの状態
8 CENTER LEVEL	映画やテレビ番組の台詞の音量を上げたり下げたりします。
9 SURROUND LEVEL	リアスピーカーの音量バランスを、フロントスピーカーとの対比で調整します。
10 LANGUAGE	コンソールとADAPTiQ自動音場補正システムで使用する言語を変更します。
11 SET OPTICAL INPUT	光ケーブル端子に接続された機器を自動/TV (デフォルト)、CBL SAT、BD DVD、GAME、またはAUXのいずれかに設定します。
12 SET COAXIAL INPUT	同軸ケーブル端子に接続された機器を自動/TV (デフォルト)、CBL SAT、BD DVD、GAME、またはAUXのいずれかに設定します。
13 SET ANALOG INPUT	アナログ端子に接続された機器を自動/TV (デフォルト)、CBL SAT、BD DVD、GAME、またはAUXのいずれかに設定します。
14 ADAPTIQ	ADAPTiQによる音場補正を開始します。
15 PAIR ACOUSTIMASS	Acoustimass®モジュールをシステムに接続し直します。
16 FACTORY RESET	システムメニューとADAPTiQ自動音場補正システムを出荷時の設定に戻します。

エラーメッセージ

ディスプレイ	システムの状態
ERROR Cannot find Acoustimass	Acoustimass®モジュールがコンソールに接続されていません。
<接続機器名> No signal	機器がコンソールに接続されていないか、コンソールに接続されている機器の電源がオフになっています。
SIDE AUX Nothing connected	コンソールの 端子に機器が接続されていません。
ERROR Call Bose	カスタマーサービスへお問い合わせください。

Acoustimass®モジュールのステータスインジケーター

Acoustimassモジュールの背面にあるステータスインジケーターには、システムの動作状態が表示されます。

インジケーターの表示	Acoustimassモジュールの状態
オレンジ	コンソールに接続されています。
オレンジの点滅	コンソールへの接続が解除されています。
オレンジの遅い点滅	コンソールへのワイヤレス接続を行える状態にあります。
赤	システムエラーです。

故障かな？と思ったら

トラブル	対処方法
電源が入らない	• Acoustimass®モジュールとコンソールの電源コードをしっかりと接続します。 • Acoustimassモジュールとコンソールの電源コードを電源コンセントに接続し直します。 • リモコンを使用してシステムの電源をオンにします。
音が出ない	• システムのミュートを解除します。 • 音量を上げます。 • Acoustimassモジュールとコンソールを通電している電源コンセントに接続します。 • HDMI™ケーブルをテレビの**ARC**または**Audio Return Channel**と表示されている端子に接続します。テレビにHDMI ARC端子がない場合は、HDMIケーブルのほかに音声ケーブルを使用します(16ページを参照)。 • 追加の音声ケーブルを使用する場合は、テレビの音声出力(**Output**または**OUT**)端子に接続します。音声入力(InputまたはIN)端子には接続しないでください。 • テレビ、接続機器のケーブルをしっかりと接続します。 • 外部機器をテレビに接続している場合は、適切なテレビ入力を選択します(25ページを参照)。 • CEC機能の「Alternate On (オルタネート オン)」と「Default On (デフォルト オン)」を切り替えます(31ページを参照)。 • 使用しない場合はヘッドホンを外します。 • 端子に機器を接続している場合は、システムメニューで**Audio in**を有効にします(31ページを参照)。 • 端子にヘッドホンを接続している場合は、システムメニューで**Headphones**を有効にします(31ページを参照)。 • エラーメッセージ「**Cannot find Acoustimass**」が表示された場合は、Acoustimassモジュールとコンソールをペアリングします(36ページを参照)。 • システムをリセットします(37ページを参照)。
テレビから音が出る	• HDMIケーブルをテレビの**ARC**または**Audio Return Channel**と表示されている端子に接続します(使用できる場合)。 • テレビの内蔵スピーカーをオフにします(テレビの取扱説明書を参照)。 • テレビの音量を最小に設定します。
映像が出ない、画質が悪い	• 別の機器に切り替えてから問題のある機器に戻して、再度信号を安定させてみます。 • 問題のある機器のHDMIケーブルを外してから接続しなおします。 • コンソールとテレビを接続しているHDMIケーブルを外してから接続しなおします。 • 問題のある機器、テレビ、コンソールの電源をオフにしてから再度オンにします。 • 光ケーブル端子、アナログ端子、または同軸デジタルケーブル端子をHDMI™接続機器のいずれかに割り当てている場合は、システムメニューを使用して、設定を「自動/TV (デフォルト)」に戻します(31ページを参照)。

お手入れについて

トラブル	対処方法
リモコンが正しく機能しないことがある、またはまったく機能しない	• 電池ケースに表示されている＋と－の向きと、乾電池の＋と－の向きを正しく合わせてください(18ページを参照)。 • 電池を交換します(18ページを参照)。 • リモコンの音量ボタンを押して、正しい接続機器ボタンが点滅するかどうか確認します。 • コンソールから保護フィルムを剥がします。 • 接続機器ボタンをリセットします(37ページを参照)。 • CEC機能を使用している場合: - リモコンをコンソールに向けます。 -「Alternate On」に設定します(31ページを参照)。 - システムのCEC機能を無効にし(31ページを参照)、リモコンで接続機器を操作できるように設定します(24ページを参照)。 • リモコンで接続機器を操作できるように設定している場合: - リモコンを操作する接続機器に向けます。 - 機器のメーカーの設定コードを正しく入力したことを確認します。 - リモコンに別のコードを入力してプログラムします(24ページを参照)。
システムが正しい接続機器と同期しない/しばらくしてから使用しない接続機器に切り替わる(CEC)	•「Alternate On」に設定します(31ページを参照)。 • 接続機器のCEC機能を無効にします(詳細については、機器の取扱説明書をご覧ください)。 • システムのCEC機能を無効にし(31ページを参照)、リモコンで接続機器を操作できるように設定します(24ページを参照)。
CEC機能が正しく動作しない、またはまったく動作しない	•「Alternate On」に設定します(31ページを参照)。 • 接続機器のCEC機能を無効にします(詳細については、機器の取扱説明書をご覧ください)。 • システムのCEC機能を無効にし(31ページを参照)、リモコンで接続機器を操作できるように設定します(24ページを参照)。
音質が良くない、音が歪む	• システムから保護フィルムをすべて剥がします。 • テレビ、接続機器のケーブルをしっかりと接続します。 • エラーメッセージ「**Cannot find Acoustimass**」が表示された場合: - Acoustimass®モジュールを電源に接続します。 - Acoustimassモジュールとコンソールをペアリングします(36ページを参照)。 • アナログ端子または 端子を使用している場合は、接続機器の音量を下げます。 • システムを出荷時の設定にリセットして(37ページを参照)、ADAPTiQ®自動音場補正システムを実行します(20ページを参照)。

トラブル	対処方法
音が途切れる/聞こえない	• 無線ルーター、コードレス電話、テレビ、電子レンジなど、干渉が発生する可能性のある機器からシステムを離します。 • 他のオーディオ/ビデオストリーミングアプリを停止します。 • モバイル機器を干渉源や障害物から離して、システムに近付けます。 • システムやモバイル機器をルーターやアクセスポイントに近付けます。 • ミュートを解除するか、音量を上げます。 • 電源コードをコンセントから抜き、1分待ってから差し直します。 • テレビ、接続機器のケーブルをしっかりと接続します。 • CEC機能の「Alternate On (オルタネート オン)」と「Default On (デフォルト オン)」を切り替えます(31ページを参照)。
ネットワークのセットアップを完了できない	• システムを電源に接続します。 • 正しいネットワーク名を選択して、パスワードを入力します。 • 機器とSoundTouch®システムを同じWi-Fi®ネットワークに接続します。 • ワイヤレスアダプターがルーターの通信範囲内にあることを確認します。 • セットアップに使用する機器(携帯端末やコンピューター)のWi-Fi機能を有効にします。 • 開いている他のアプリケーションを終了します。 • セットアップにコンピューターを使用している場合は、ファイアウォールの設定をチェックして、SoundTouch® appとSoundTouch®ミュージックサーバーが許可されるプログラムであることを確認します。 • www.SoundTouch.comにアクセスしてインターネット接続をテストします。 • 携帯端末またはコンピューターとルーターを再起動します。 • アプリをアンインストールし、アダプターを出荷時の設定に戻してから、セットアップをやり直します。
Bluetooth®対応機器の音楽を再生できない	システムでの操作: • SoundTouch®のセットアップを行ってから、すべてのシステムで更新を実行します。 • 機器をペアリングします(29ページを参照)。 • 別の機器をペアリングしてみてください。 •「音が出ない」をご覧ください。 • SoundTouch® appを使用して、システムのペアリングリストを消去します。 - [**EXPLORE**] > [**設定**] > [**システム**]に移動し、SoundTouch® systemを選択します。 - *Bluetooth*の項目を開いて、ペアリングリストを消去します。 モバイル機器での操作: • *Bluetooth*機能を無効にしてから、再度有効にします。 • *Bluetooth*メニューからシステムを削除します。もう一度ペアリングします。 • *Bluetooth*対応機器の取扱説明書をご参照ください。 •「音が途切れる/聞こえない」の項目をご参照ください。

お手入れについて

コンソールでAcoustimass®モジュールを検出できない

Acoustimassモジュールとコンソールは、工場出荷時にペアリングが済まされています。ただし、ディスプレイにエラーメッセージ「**Cannot find Acoustimass**」が表示される場合は、次のペアリング手順を実行します。

1. Acoustimassモジュールの電源コードのプラグを壁のコンセントから抜きます。
2. リモコンの SYSTEM ボタンを押します。
3. ▼ ボタンを押して、ディスプレイに「**15 PAIR ACOUSTIMASS**」と表示させます。
4. OK ボタンを押します。
   Plug in Acoustimass とディスプレイに表示されます。
5. 電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込みます。

   Acoustimassモジュールがコンソールに接続されると、ディスプレイに「**Pairing complete**」と表示されます。

   注記: ワイヤレス信号の干渉が大きい場合の別の接続方法については、カスタマーサービスにお問い合わせください。

ADAPTiQ®自動音場補正システムのエラーメッセージ

音声ガイドから以下のエラーメッセージが聞こえる場合があります。

エラーメッセージ	トラブル	対処方法
1	ADAPTiQ用ヘッドセットのマイクで音声を検出できません。	• スピーカーケーブルをすべてしっかりと接続します。 • ADAPTiQ用ヘッドセットの上部にあるマイクの開口部が塞がれてないことを確認します。 • ADAPTiQ用ヘッドセットが破損している可能性があります。ボーズ株式会社カスタマーサービスに連絡してヘッドセットを交換してください。
2	室内の雑音が大きすぎます。	室内が静かになったら、ADAPTiQ自動音場補正システムを再起動します。
3	ADAPTiQ用ヘッドセットがスピーカーに近すぎます。	ADAPTiQ用ヘッドセットを装着したままスピーカーから離れた場所に移動します。
4	リスニングポジション同士が近すぎます。	前のリスニングポジションから30 ～ 60 cm離れた場所まで移動します。
5	ADAPTiQ用ヘッドセットが動いたために測定できません。	測定中は、頭を動かさないようにしてください。

問題を解決した後で、ADAPTiQ自動音場補正システムを再起動する必要があります(20ページを参照)。このほかのエラーメッセージが聞こえた場合は、ボーズ株式会社カスタマーサービスに連絡して指示を受けてください。

システムを出荷時の設定にリセットする

問題を解決するために、システムメニューとADAPTiQ®自動音場補正システムを出荷時の設定に戻します。

1. リモコンの SYSTEM ボタンを押します。
2. ▼ ボタンを押して、ディスプレイに「**16 FACTORY RESET**」と表示させせます。
3. [**5**] ボタンを押します。

   システムがリセットされます。
4. 言語を選択します(19ページを参照)。
5. ADAPTiQ 自動音場補正システムを実行します(20ページを参照)。

リモコンの接続機器ボタンをリセットする

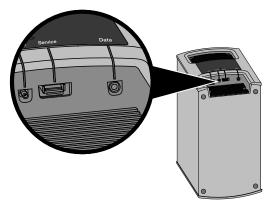
リモコンの接続機器ボタンに問題がある場合は、接続機器ボタンを出荷時の設定にリセットします。

この手順を実行すると、接続機器ボタンはCEC機能モードに設定されます。

1. リモコンの該当する接続機器ボタンを長押しして、6つの接続機器ボタンが点灯したら指を放します。

   該当する接続機器ボタンのみが点灯します。
2. 数字キーパッドを使って、「**0140**」と入力します。

Acoustimass®モジュールのサービスコネクター

サービスおよびデータコネクターはサービス専用です。これらのコネクターにケーブルを接続しないでください。

お手入れについて

システムの外装は柔らかい布でから拭きしてください。

- システムの近くでスプレーを使用しないでください。溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に液体が入らないようにしてください。

お問い合わせ先

トラブル解決のための詳細情報は、以下の方法で入手できます。

- SoundTouch.comにアクセスします。
- カスタマーサービスへお問い合わせください。専用ナビダイヤル　0570-550-305

保証

製品保証の詳細は (http://bose.co.jp/rep)をご覧ください。製品のご登録をお願いいたします。登録は、http://global.Bose.com/registerから簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

本製品の保証内容は、オーストラリアおよびニュージーランドでは適用されません。オーストラリアおよびニュージーランドでの保証の詳細については、弊社Webサイト(www.bose.com.au/warrantyまたはwww.bose.co.nz/warranty)をご覧ください。

仕様

Acoustimass®モジュール
電源定格: 100 ～ 240V∿ 50/60 Hz 150W

コンソール
電源定格: 100V ～ 240V∿ 50/60 Hz 60W

セットアップに関する重要な情報

- スマートフォンやタブレットではなく、コンピューターからシステムをセットアップすることもできます。
- Wi-Fi®ネットワークに接続しているコンピューターを使用します。
- 音楽ライブラリが保存されているコンピューターを使用してください。
- 付属のUSBケーブルが必要です。*
- アプリでUSBケーブルを接続する指示が表示されるまで、ケーブルを接続しないでください。

*****_システム背面のSETUP A USB端子はコンピューターによるセットアップ専用です。USB端子はスマートフォンやタブレットなどの充電には使用できません。_

デスクトップコンピューターを使用してセットアップする

デスクトップコンピューターを使用している場合は、コンソールとSoundTouch®ワイヤレスアダプターを一時的にコンピューターの近くに移動し、システムをセットアップします。セットアップの最中に、USBケーブルで一時的にコンピューターとワイヤレスアダプターを接続するよう、アプリに指示が表示されます。

セットアップが完了したら、USBケーブルとコンソールをコンピューターおよび電源から取り外して、システムを元の場所に戻してください。

コンピューターでシステムをセットアップする

1. コンピューターでWebブラウザーを開いて、次のURLにアクセスします:

   SoundTouch.com/app

   ヒント: 音楽ライブラリが保存されているコンピューターを使用してください。
2. SoundTouch®アプリをダウンロードして実行します。
3. システムをホームネットワークに接続します(21ページを参照)。
   セットアップの手順はアプリに表示されます。